

HIGASHIOSAKA CENTRAL ROTARY CLUB

(第2660地区)

WEEKLY BULLETIN

No. 7

東大阪中央ロータリークラブ

創立 昭和47年2月20日
例会日 毎週月曜日 12:30~
例会場所 シェラトン都ホテル大阪
事務所 大阪市天王寺区筆ヶ崎町5-38
〒543-0027 ロイヤルパークス桃坂1112号
TEL. 06 (6772) 2320
FAX. 06 (6772) 2327
E-mail:hcrc@at.wakwak.com



会長 切石博之
会長ノミニー 浅野光男
副会長 宮崎康治
幹事 細川勝治
会報委員長 岡田忠彦

BUILDING COMMUNITIES BRIDGING CONTINENTS

地域を育み大陸をつなぐ

2010~2011年度 国際ロータリー会長 レイ・クリンギンスミス

第1778例会 平成22年8月30日(月曜日) 第7号

本日の例会

8月30日(月) 第4例会

- ◎ソング 「我等の生業」
◎卓話 「落語を十倍楽しむ方法」
ゲストスピーカー 日本料理 江戸堀
やまぐち代表 山口一儀様(大阪西南RC)
(担当 和田栗一良会員)
◎本日の献立 おまかせ定食

次回の例会

9月6日(月) 第1例会

- ◎卓話 「未定」
(担当 小林成共会員)
◎本日の献立 フランス料理

前回の例会記録

8月23日(月) 第3例会

- ◎ゲスト 米山奨学生 陸光杰君

会長挨拶

会長 切石博之

お盆が過ぎると、心が安らぎ秋の気配が近付いてくるのを感じますと申し上げたいのですが、残念ながら今年は記録的な猛暑。まずは体調管理され、自分を大切にしてください。

さて、先日亡くなられた山本会員のご子息から「山本会員を偲ぶ会」の案内が事務局へ届きました。9月18日の土曜日、午後三時より、この都ホテルの四階大和の間にて執り行われるそうです。宜しくお願ひ申し

上げます。

寝静まり銀河流るる音ばかり 高浜虚子

高浜虚子は正岡子規の写生主義を継承し、俳誌「ホトトギス」を主宰して花鳥風詠を唱えた人です。銀河は銀漢とも天の川とも言い、天に光る無数の星の帯びであります。芭蕉の「荒海や佐渡に横たふ天の川」はあまりにも有名であります、この句は、銀河の流れる音を聞いたと表現しています。銀河の流れる音など聞こえるわけが無いのに虚子は聞いたと言っています。詩人は聞え無いものを聞いてしまいます。

残暑の夜、ここまで耳を澄ます事ができれば、涼しい夜を過ごせるのではないのでしょうか。ちなみに私の下手な句は、

残暑まだ同居しており午前二時 東光

幹事報告

幹事 細川勝治

- 8月28日(土)地区ロータリー財団セミナーには、百済ロータリー財団委員長と幹事が出席致します。百済ロータリー財団委員長よろしくお願ひ致します。
- 今年度のクラブ概況報告及び活動計画書とロスターをポストに入れています。

出席報告

佐井委員

本日の会員数	39名
本日の出席者数	32名
本日の出席規定適用免除会員	11名
本日の出席率	91.43%
8月2日の修正出席率	91.90%

松岡会員 残暑お見舞い申し上げます。まだ続きそうです。お体にご自愛下さい。

卓話

「66歳の手習い」

藤原英夫

今回は“66歳の手習い”ということで、話をさせていただきます。手習いなのかどうかわかりませんが、昨年の9月より英会話の勉強を始めました。其の理由は、

- 1) 昨年の4月に娘がイギリス人と結婚したので、必要性がでてきた。
- 2) 旅行中にトラブルがあつて、困つたことがあつた。
- 3) 最近あまりにも物事にトライする意欲がなくなつてきたので少し勉強を強いる。
- 4) 時代の流れとして、自分には直接関係ないけど、企業も英語を喋れない人は正社員として採用しない様な方向になってきている。

こんなことであります。

英会話の時間は、毎週金曜日で初級は1:00から2:00で、中級は2:00から3:30までということになっていますが、私は初級も中級も受けています。金曜日のお昼からですから、ほとんど大手商社などの海外駐在員などを経験した70歳前後の方がほとんどですが、初級中級あわせて20名ぐらいで、女性はそのうち7名います。先生はジェニファー渡辺と言うアメリカ人のやさしい女性です。

初級は主に、順番にトピックスを話し白板に書き、その内容と言葉に対し、即座に相槌をする練習と内容に回答する練習をします。もちろん教科書も日常会話用と構文作文用の2冊があり練習します。なごやかで面白いと言うのが印象であります。中級は、少しレベルが上がり、同様にトピックスを喋り、ほかの人が質問をする会話の時間と教科書による構文と作文の時間、そして新聞に出るニュースのチェックなどを勉強します。総じて語彙はみなさんよくご存じですが、発音が非常に良くないと言う印象であります。はや11ヵ月経ちました。いかほど上達したのか、まるで分かりませんが根気よく頑張ろうと思っています。

日本人は外国語が下手だとみんな思っていますが何故なのでしょう。私は、日本人は言葉を単純に音から入れない理由を持っているからだだと思います。それは、ほとんどの国の人は一種類のアルファベットであるのに対し、日本人は三種類のアルファベット(漢字、ひらかな、カタカナ)を持ち、それを使う為、どうしても余分な発想が起こり、音としての言葉を受け入れ

にくいのだらうと思っています。

日本にいる日本語を上手に喋る外国人は沢山いますが、ほとんど90%日本語は書けないでしょう。英語を喋れない日本人でも英語を書ける人は沢山います。おそらく日本でしか通じない和製英語などがあること自体おかしなことで、これから外国語を習得しようとする人にとっては、大変厄介な産物であります。この国にしか通用しない三つのアルファベットを見事に使い分ける私にとっては、英会話は手習いと言うよりトライと言う方が合っているかもしれません。

「会員増強・拡大月間にあたって」

国際ロータリー第2660地区

ガバナー 松本新太郎

7月からロータリーの新年度が始まり、翌8月は「会員増強・拡大月間」にあっています。私観を申し上げますれば「会員増強」はロータリークラブにとって、年間を通じての最重要項目であつて、通年の活動を続けていくべきと思っております。ただ8月は新年度のスタートダッシュの意味合いからも、どうぞ特にご尽力をいただきますようお願い申し上げます。

さて、今年2月に開催された当地区2009～2010年度地区大会の中で、RI会長代理のビチャイ・ラタクル氏は、日本での会員数減少に多大の懸念を表明されました。ここ数年間で5,000人の会員が減少し、これは実にタイ一国の会員総数に匹敵するそうです。その原因については様々な意見がありますが、現実に会員数減少は深刻さを増すばかりです。

そこで今年度、皆様にご提案申し上げたいのですが、高齢化による自然減などをカバーした上で、各クラブ1名以上の新会員を受け入れていただきたいのです。第2660地区の85クラブがこの目標を達成し、さらに日本全国、世界各国でも同様の実績を挙げることができれば、まさに「地域を育み、大陸をつなぐ」高邁な精神にもつながることでしょう。

新会員勧誘のためには、ロータリークラブかいかにかに楽しい場所であり、かつ社会的にも有意義な組織で取り組みがいのある活動を行っているかを、皆様お一人おひとりが今一度見つめ直していただいた上で、十分に説明を尽くして理解してもらうことが求められます。

その一助になればと、5月には地区のクラブ奉仕・拡大増強委員会が中心となって「クラブ奉仕・会員増強セミナー」を開催していただきました。ぜひお役立ていただき、各クラブに新しい仲間を迎えていただくことを願ってやみません。

[ガバナー月信8月号より]